

3 朝陽小学校の実践

(1) これまでの具体的な取組

あいさつ

あいさつ週間の設定（9月・3月に1週間設定）

— 具体的取り組み例 —

(あいさつゲーム)

- ・ 意識して、誰にでも、進んであいさつができるようになってほしいという気持ちから、全職員・全児童の名前を書いた用紙を準備し、1週間、「あいさつゲーム」を行った。

(実施後の児童の感想) 上3つが9月、下3つが1月の感想

- ・ あいさつをして、きもちがなんかうれしくなりました。(2年)
- ・ 月曜日から金曜日まで、毎日3・4年生にあいさつできました。あいさつしたらみんなもかえしてくれました。(4年)
- ・ 朝、学校で、みんなが「おはよう」と言ってくれたので、うれしかった。(5年)
- ・ 先生やともだちにいっぱいあいさつができて、うれしかったです。(1年)
- ・ 1回目より、たくさんあいさつができました。とてもいい気持ちでした。(4年)
- ・ いろいろな人に笑顔で元気よくあいさつができた。これからも、しっかり人の目を見て、あいさつをするようにがんばりたい。(6年)

(あいさつ週間を終えて)

- ・ 1週間「あいさつゲーム」を実施して、実施期間だけでなく、その後も、以前より、意識してあいさつができるようになってきていると感じられる。児童どうして「さん、おはよう」と笑顔であいさつする姿をよく見かけるようになってきた。
- ・ 先生方からの感想に、止まってあいさつや大きな声でのあいさつが十分ではないという反省が出された。「気持ちよいあいさつ」についても今後指導していきたい。
- ・ 子どもたちの感想から、あいさつをすることのすがすがしさが読みとれた。児童の感想を紹介したり、個人の結果を振り替えさせたりし、各学級事後指導を行ってもらった。今後も継続的な指導を行い、気持ちよいあいさつの習慣を徹底していきたい。

地域や保護者の協力をもらったのあいさつ運動の実施

- ・ 年間(月)を通した計画分担に基づき、児童の登校時間帯に通学路に立ち、互いにあいさつを交わし、あいさつのよさを感じ取らせる。

(毎月1回、4月・9月・3月のあいさつ週間時の実施)

一学期の重点指導項目に設定し、担任によるHR等での指導。

返事

- ・ 適時指導(普段の生活の場や授業の中で)
- ・ 全校朝会や授賞式での返事の徹底(やり直しの指導...共通理解)
- ・ 朝の会における指導、一日のめあてとしての設定

家庭学習の習慣化

- ・ 保護者全員に家庭学習取り組み状況についてのアンケートの実施。日曜参観日に全体PTAを設定し、集計結果の報告及び推進の依頼
- ・ 各担任による家庭学習課題の工夫（各学年に応じた課題の設定）
- ・ 家庭学習の手引きの作成計画
- ・ 11月に家庭学習強化週間実施
（課題の工夫・担任の見届け・児童の意欲喚起・家庭への協力依頼）

（2）これまでの取組の成果と課題

<あいさつ>

- ・ 1学期末の職員の反省で、「対教師の場合はよくできるが、子ども同士ではあまりできていないようだ。」ということが出された。あいさつ週間の取り組みで、友達同士でもあいさつができるようになってきた。また、全体的に、あいさつがよくできるようになってきている。
- ・ あいさつはできても、声が小さかったり「気持ちよいあいさつ」ができていない児童もいた。また、地域の方や来校者へのあいさつが十分でない児童もいた。心情面なども考えさせ、継続的に指導していきたい。

<返事>

- ・ 適時指導を進めているが、しっかりとできていなかったり、声が小さかったりしている。家庭と連携した取り組みを今後も図っていきたい。
- ・ 意識的に取り組めるよう、「気持ちよい返事」を来年度の生活目標の重点項目に設定した。

<家庭学習>

- ・ ほぼ家庭学習の習慣は身に付いているが、内容や時間について差がある。この差は、各家庭での見届け・声かけ等、協力の差であるように感じる。今後、家庭といかに連携し、協力していけるかが課題である。

（3）「生活習慣アンケート結果」の活用等について

- ・ 学校保健委員会において提示し、食生活・睡眠時間・テレビやゲーム時間などの課題について認識してもらった。各家庭において、この結果を踏まえ改善していくこととなった。今後の継続的な調査をもとに、改善状況を確認していく。

（4）PTA等への具体的な啓発

- ・ PTA理事会や各会合等での啓発
- ・ 学校便り等での広報